

第75回 四国高等学校陸上競技対校選手権大会

兼 第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会四国地区予選会 実施要項

〈全国高校総体リハーサル大会〉

- 主催** 四国高等学校体育連盟・徳島県教育委員会・四国陸上競技協会
後援 公益財団法人徳島県スポーツ協会・鳴門市教育委員会・鳴門市スポーツ協会
主管 徳島県高等学校体育連盟・一般財団法人徳島陸上競技協会
- 1 期 日** 令和4年6月18日(土)～20日(月) 3日間 雨天決行
(1) 開会式 6月18日(土) 8時30分～ ポカリスエットスタジアム
(2) 競 技 6月18日(土)・19日(日)・20日(月) 10時～
- 2 会 場** 鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム(鳴門総合運動公園陸上競技場)
〒772-0017 鳴門市撫養町立岩四枚 61 Tel.088-685-3131
- 3 種 目** [男子]
100m・200m・400m・800m・1500m・5000m・110mH・400mH・3000mSC・5000mW・4×100mR
4×400mR・走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投・
八種競技(以上21種目)
[女子]
100m・200m・400m・800m・1500m・3000m・100mH・400mH・5000mW・4×100mR・
4×400mR・走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投・ハンマー投・やり投・
七種競技(以上20種目)
- 4 競技規定** 2022年度日本陸上競技連盟競技規則による。
- 5 競技方法** (1) 学校対抗とする。
(2) 男・女別に合計得点によって学校順位を決定する。
(3) 各種目の得点は1位8点、2位7点……、8位1点とする。但し、混成競技については、総合得点のみに加える。
- 6 参加資格** (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
(2) 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部への登録者であること。また、各県予選会で6位までに入賞した生徒であること。但し、競歩・混成競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投については4位までとする。
(走高跳・男子棒高跳は6名、女子棒高跳は4名とする)
(3) 年齢は、平成15(2003)年4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(6) 転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住などやむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りでない。
(7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
(8) 参加資格の特例
ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、陸上競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒については、別途に定める

規定に従い大会参加を認める。

イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、各県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア 四国高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
 - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、四国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失しておらず、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 四国高等学校選手権大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

7 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督、コーチ等は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
- (3) 但し、上記(1)(2)について各県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

8 参加制限

- (1) 各種目県大会上位6位とする。但し、競歩・混成競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は4位とする。（走高跳・男子棒高跳は6名、女子棒高跳は4名とする）
- (2) 参加者は、1種目1校3名以内とし、リレーは1校1チーム（6名以内）とする。
- (3) 同一人の出場は、リレーを除き3種目以内とする。
- (4) 外国人留学生については、1校男子4名、女子3名以内とし、1種目1校1名の出場とする（この種目にはリレーも含む）。但し、リレーに出場する場合には、個人種目と合わせて1校男子は最大4種目・女子は最大3種目とする。

9 参加申込

- (1) 申込期日 6月10日(金) 必着のこと。
(メールアドレスはできるだけ早くお送り下さい)
- (2) 申込場所 〒779-3233 徳島県名西郡石井町石井字石井21-11 TEL(088)674-2151
徳島県立名西高等学校内 村山佳史 宛 FAX(088)674-8315
メールアドレス kingmurarin@yahoo.co.jp
- (3) 申込書類 ア 学校長出場承認書【様式1】
イ 県予選会成績一覧表（決勝一覧表）
ウ 県予選会のプログラム（記録記入済）[プログラムと記録集でも可]

エ 参加料・プログラム代納入明細書【様式2】

オ 宿泊申込書【様式3】

カ 参加料プログラム代金一覧表(申込1)《郵送とメール》

キ 申込用ファイル(申込2)《メール》

※ ア・エ・オは各校監督が作成し、イ・ウ・カ・キは各県専門委員長が確認・作成のうえ、各県一括して申し込むこと。(カのデータはメールでも送ること)
但し、アについては、所属高体連事務局に1部提出のこと。

(4) 参加申込後の棄権については、納入した参加料の払い戻しはしない。

※ 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

10 参加料 1人 1,600円(申込みと同時に一括納入のこと)

11 表彰 (1) 男・女とも総合優勝校は優勝杯(持ち回り)と賞状を授与する。
(2) 男・女とも総合・トラック・フィールドの1・2・3位校には賞状を授与する。
(3) 男・女とも各種目1位には賞状及びメダルを、2・3位には賞状を授与する。

12 宿泊 (1) 選手、監督及び大会役員の宿舎は、開催県の競技種目専門部が準備し配宿する。
(2) 宿泊料は、1泊2食で9,075円(税込)とする。
但し、弁当を申し込んだ場合は、弁当料金700円(税込)を別途支払う。
(3) 宿泊は所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加申込と同時に申し込むこと。

13 監督会議 (1) 6月17日(金) 14:30からポカリスエットスタジアム第3会議室で行う。
(2) 各県代表3名参加のこと。

14 日程 別紙のとおり
【開会式】6月18日(土) 8時30分～
【閉会式】6月20日(月) 競技終了後

15 全国大会参加資格

本大会6位までの入賞者は全国大会に出場できる。但し、競歩及び女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は4位、混成競技については本大会3位までと本大会において4～6位入賞者の成績が各ブロックの3位を除く全国の上位5位以内に入った者とする。
(走高跳・男子棒高跳は6名、女子棒高跳は4名とする)

16 連絡事項 (1) アスリートビブスは各県で準備のこと。各県の番号は次のとおりとし、男子は黒字、女子は赤字とする。

【香川県1～200 徳島県201～400 高知県401～600 愛媛県601～800】

(2) 各学校へのプログラム無料配布はしない。
(3) 参加選手は、健康保険証を持参すること。
(4) 競技中の疾病については主催者で応急処置をするが、他は責任を負わない。
(5) 棒高跳のポールを送付する場合は、下記あてに送付すること。

鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム(鳴門総合運動公園陸上競技場)
〒772-0017 鳴門市撫養町立岩四枚 61 Tel.088-685-3131

17 その他 (1) 新型コロナウイルス感染症対策については関係する省庁、自治体、競技団体が定めるガイドラインに従うものとする。
(2) 主催者は当該競技会に関わる全ての人の、新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任も負わない。